

「いざ 鎌倉へ！」

9月12日(木)6年生が市内の寺社、史跡をめぐる校外学習に行きました。講師は1学期にもお世話になった市教育委員会文化財課の保坂先生です。

まず、教室で見学予定の寺社について『鎌倉』とのつながりを教えていただきます。鎌倉の源頼朝から信頼を得ていた小笠原長清を輩出した甲斐源氏の一族。また、鎌倉円覚寺とつながりのある夢窓疎石により開かれた古長禅寺。南アルプス市が遠い『鎌倉』と深く結びついてついていたことをスライドを使い教えていただきました。

実際に見学に出発です。まずは、加賀美氏、武田氏とゆかりのある法善寺です。立派な本堂と大きな不動明王像にびっくり。境内に入る人々にらみをきかす二天。そのちがい探しから「阿吽」という意味を知りました。次は古長禅寺です。趣のある山門を通り、修行を積むことで『心』という字が見えてくるという心字池へ。また、西地区とも関わりのある大井夫人とお寺の由来について教えてもらいました。最後は秋山光朝の館跡と伝えられる熊野神社。頼朝から排斥され追い詰められて自害した光朝。神社の屋根には、小笠原家に関係する丸三階菱と武田菱の家紋がつけられていました。

自分たちの住む市と鎌倉がこんなにも深い結びつきがあることを実感した6年生。修学旅行まであと1ヶ月あまり。仲間と先生と共に、準備と学習を重ね、すばらしい修学旅行にしてほしいと思います。

